

ホームページの掲載	
予定	8月14日掲載予定

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

校長 都竹 輝昌  
 学校住所 岐阜市西秋沢 2-262-1 電話 058-239-9712

- 1 会議の名称 岐阜県立岐阜本巣特別支援学校学校評議員会
- 2 会議の構成 委員 今井 正聡 株式会社サン・シング東海 常務取締役  
 岩越 康真 あじろ診療所副院長・ひめゆり療育センター副センター長  
 岡崎 良高 本巣市障がい者就労支援センターみつば所長  
 早川 忠利 西秋沢地区自治会長  
 松尾 綾子 本巣市本巣民生児童委員・社会福祉法人長良福祉会あじさいの家施設長  
 (委員名は五十音順)

学校側	寺島 千夏	PTA会長	-----	阪之下弘則	小学部主事
	都竹 輝昌	校長	-----	高橋 秀樹	中学部主事
	丸山 忠	事務長	-----	小野島弥生	高等部主事
	西村三紀郎	教頭	-----	鹿嶋 成美	教務主任
				松原多香音	支援センター長

- 3 会議の目的 学校運営等について地域住民や保護者等から幅広く意見を求め、充実した教育活動を展開するとともに、地域に開かれた学校づくりを推進することを目的とする。

- 4 会議の開催 日時：平成24年7月19日(木) 午前9時30分～11時30分  
 場所：岐阜本巣特別支援学校校長室  
 出席者： 委員5人、学校側9人

- 5 会議の概要  
 (1) 開会挨拶と学校評議員の委嘱  
 (2) 授業参観及び施設見学  
 (3) 全体会議  
 (4) 本校の現状と課題説明

- 6 会議の内容  
 (1) 校長挨拶  
 ・新しい評議員さんを3名お迎えしました、この後、授業参観及び施設見学、本校の現状と課題説明をさせていただきますので、忌憚のないご意見をお願いいたします。  
 (2) 授業参観及び施設見学 (略)  
 (3) 全体会議

本校の現状と課題説明

- ・校長より資料をもとに、本校の学校運営上の課題を説明 (項目のみ記載)
- ①教育環境の整備について      ②児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導内容の工夫について
- ③高等部生徒の就労支援について      ④職員研修の充実について

## 高等部作業製品の価格について

- 意見1： 提案された新規製品及び価格変更製については妥当なものである。また、干し椎茸の価格、量、保存方法等もよい。
- 意見2： 作業製品の販売期日、期間等はどうなっているのか
- 学校側： caf' e 和ーなごみー の営業日、下校時迎えの時（保護者・職員）、学校祭等で販売している。
- 意見3： 一般・地域の方々へ販売できるとよい。
- 学校側： 作業学習の時間数も少なく、大量生産は難しい面もあるが、今後販路拡大をしていきたい。また、手工芸班の展示会等も計画していきたい。印刷班のTシャツ等は注文販売形式である。
- 意見4： 野菜等の販売を生徒が地域に出向いて販売できないか。
- 学校側： 畑が狭いので、休遊地等を利用できないかと考えている。
- 学校側： 価格はこれでお認めいただけるか。  
※意義なく価格については妥当であると認めていただいた。

## 授業・施設を見学していただいたのご意見や感想及び質疑応答

- 意見1： 日常生活の指導について保護者との連携はどのようにされているのか。
- 学校側： 学校での支援・指導は限られているため、家庭との協力・連携が必要である。懇談等で共通理解を図りながら、家庭でも協力していただくようお願いしている。「一人一人の児童生徒に何をねらうのか」しっかり職員が共通理解をし、保護者も含めた支援・指導をしていきたい。
- 意見2： 発達障がいについての職員の研修はどう取り組んでいるのか。
- 学校側： 情緒が不安定な児童生徒に対して、どう支援（改善）していくかが課題である。一人の職員だけでなく、学年・グループ等複数の職員で検討しながら支援・指導している。
- 意見3： 授業参観をさせていただき、昨年より歩き回る児童生徒も少なく、落ち着いて授業に取り組んでいた。「発達障害者支援研究会」を年3回開催している。医療・教育・福祉の連携を目指している。是非参加していただきたい。
- 意見4： 一般就労を目指していきたいのだが、このままでよいという意識があり、本人・保護者の意識が薄れてきている。しえん・指導の方法があれば教えていただきたい。
- 学校側： 学校側も見方を変えていかなければならない。今の現状を見据えつつ、先へ進む姿勢について本人・保護者と話し合っていきたいと考える。
- 意見5： 発達障がいの児童生徒が多くなってきた理由はあるのか。
- 学校側： 社会的に認知されたのが大きな要因である。
- 意見6： いじめの問題はないのか。
- 学校側： あることを前提に取り組んでいる。そして、芽を摘んでいくことも含め、早期の対応に心がけている。
- 学校側： PTA活動を通して、学校職員と連携することの大切さ、みんなに愛されて生きていくことの大切さを保護者に働きかけていきたい。

### (4) 連絡

※学校評価記入依頼。

※ふれ合い参観日、学校祭等の行事、第2回の学校評議会（平成25年1月中旬）参加依頼。

### 7 会議のまとめ

本日はご多忙の中、ご出席いただきありがとうございます。また、この会で貴重なご意見をいただきましたので、いただいたご意見を参考に学校改善に努めていきたいと存じます。なお、評議員会という会の場だけでなく、日常的にもご意見いただきますようよろしくお願いいたします。

次回は1月中旬の開催を予定しています。